13．2 トリップ原因のリセット方法

故障、異常などでトリップしているインバータのリセットは、トリップ原因が取り除かれてから行ってください。
トリップ原因が取り除かれていないと再トリップします。十分ご注意ください。

トリップ状態のリセットは、

（1）電源を切る（ＬＥＤディスプレイが消灯するまで）
　　注）インバータトリップ保持選択F602をご参照ください。
（2）外部信号（制御端子台　RES－CC間短絡→開放）：入力端子台にリセット機能の割付けが必要です。
　（機能番号：8、9）
（3）パネルによる操作
（4）通信によるトリップクリア（詳細は「通信用取扱説明書」（E6581656）を参照ください。）

のいずれかで行います。

パネルリセットは以下の通りです。
1．［ＳＴＯＰ］キーを押して　CLr 表示が出ることを確認してください。
2．さらに［ＳＴＯＰ］キーを押すことにより、トリップ原因が取り除かれていればリセットされます。

☆過負荷保護 ［ OL 1：インバータ過負荷 / OL 2：モータ過負荷 / OLr：制動抵抗器過負荷 ］ に関しては、外部信号リセットやパネルリセットでは

仮想冷却時間の間、リセットできません。
仮想冷却時間目安 ・・・・・OL 1 トリップ後　約　３０秒間
OL 2 トリップ後　約１２０秒間
OLr トリップ後　約　２０秒間

☆過熱（OH）の場合、インバータ内部にて温度を検出していますので、内部の温度が十分低下するまで時間をおいて、リセットをしてください。
☆端子から非常停止の信号が入力されている間は、リセットできません。
☆プリアラーム発生中は、リセットできません。

～注意！～
緊急にて即リセットをしたい場合には、電源を一旦切ってリセットして対応することも可能ですが、頻繁に行うと装置やモータにダメージを与えることになりますので、ご注意ください。